資料２-２

２．質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち【教育・文化】進捗状況集計

達成状況評価基準	令和元度評価		事業総合評価	
	取組数	割合	取組数	割合
A【100%又は100%以上】…事業が完了　又は　目標以上成果があった	2	4.3%	2	4.3%
B【70%～A未満】…検討課題がほぼなく　又は　あるものの事業を実施中	45	95.7%	23	48.9%
C【50%～B未満】…事業の実施準備が完了　又は完了し事業に着手	0	0.0%	22	46.8%
D【20%～C未満】…課題等への対応中　又は　事業の実施準備がほぼ完了	0	0.0%	0	0.0%
E【0%～D未満】…未着手　又は　着手に向けて検討中	0	0.0%	0	0.0%

令和２年度事業の方向性							
評価		取組数	割合	評価		取組数	割合
A		4	8.5%	C	1	0	0.0%
B	1	43	91.5%		2	0	0.0%
	2	0	0.0%	D	1	0	0.0%
	3	0	0.0%		2	0	0.0%
					3	0	0.0%

※事業の方向性に関する説明は、【資料1】の1ページ目をご覧ください。

【教育・文化】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略（優先・重点）	令和元年度事業内容・実績	令和元年度評価	令和２年度における事業内容	令和２年度の方向性	事業総合評価	担当課
2 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち【教育・文化】								
1 幼児教育と学校教育								
1 時代に対応した教育のあり方の検討								
1	保育園、幼稚園、小・中学校の一貫教育に向けた検討	優先	平成30年度協議を行った「松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会」の報告を受け、本町での幼小中一貫教育の更なる推進にあたり「松田町幼小中一貫教育推進委員会」を設置し、現状把握やコミュニティスクールの導入、認定こども園の設置等について、小学校校舎建設事業の視点も踏まえ、総合的に理解を深めました。	B	松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会より更に踏み込んだ「松田町幼小中一貫教育推進委員会」を年３回開催し、あり方について協議し、更なる一貫教育推進を図ります。また、コミュニティスクール設置に向けて制度的に位置づけを検討します。	A	A	教育課
2	学校・家庭・地域との連携・協力の推進		平成30年度協議を行った「松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会」の報告を受け、本町での幼小中一貫教育の更なる推進にあたり「松田町幼小中一貫教育推進委員会」を設置し、現状把握やコミュニティスクールの導入、認定こども園の設置等について、小学校校舎建設事業の視点も踏まえ、総合的に理解を深めました。また、先進地視察（京都府南丹市）を行いました。	B	松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会より更に踏み込んだ「松田町幼小中一貫教育推進委員会」を年３回開催し、あり方について協議し、更なる一貫教育推進を図ります。 また、コミュニティスクール設置に向けて制度的に位置づけを検討します。	B1	B	教育課
2 町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方								
1	町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方検討委員会の設置		松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議しました。しかしながら、地域住民の方々の考えや意見を把握していなかったため、踏み込んだ協議を行うことができませんでした。	B	松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議していきます。	B1	B	教育課
2	検討委員会による協議		松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議しました。しかしながら、地域住民の方々の考えや意見を把握していなかったため、踏み込んだ協議ができませんでした。	B	松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議していきます。	B1	B	教育課
3 地域と学校の連携・教育の推進								
1	学校運営協議会設置		松田町幼小中一貫教育推進委員会を設置し、現状把握やコミュニティスクールの導入、認定こども園の設置等について、小学校校舎建設事業の視点も踏まえ、総合的に理解を深めました。	B	松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議します。具体には、コミュニティスクール設置に向けて制度的に位置づけを検討します。	B1	B	教育課
2	地域と学校の連携・教育の推進にかかる検討		松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議しました。	B	松田町幼小中一貫教育推進委員会の中で、併せて協議していきます。	B1	B	教育課
4 教育環境の整備								
1	松田小学校建設事業	優先	平成30年12月20日に公開された募集要領を基に、令和元年５月に事業者によるプレゼンテーションを実施し、６月に事業者が選定され協定を締結しました。 建設委員会や教職員の意見ヒアリング、住民説明会等を開催しながら、設計をしています。	B	設計の完成を基に、近隣住民へ日影等の生活への影響を説明し、ご理解を得ることや、９月議会において、契約の議決を得ることが、目標となります。	B1	B	教育課

項目				取組名称	まちづくり戦略（優先・重点）	令和元年度事業内容・実績	令和元年度評価	令和２年度における事業内容	令和２年度の方向性	事業総合評価	担当課
			2	学校施設整備事業		令和元年度は、松田中学校のベランダ改修工事、寄小学校の空調設備改修、松田幼稚園の庇設置工事を実施しました。修繕についても雨漏り修繕等、メンテナンス事業を実施。	B	松田小学校は、改築事業を実施するため、最低限の修繕を実施します。その他の学校等については、各学校担当者の意見を聞きながら優先順位を定めて修繕は行っていきたいと考えています。	B1	B	教育課
			3	教科用指導書・教材・備品購入事業		教科指導方法や教科内容の高度化に対応するなど、学習指導の充実や、幼稚園・学校運営に必要な備品の購入を予算の範囲内で計画的に進めました。	A	前年度に採択し、今年度から使用する小学校教科用図書について、予算の範囲内で速やかに「教師用教科書」「教師用指導書」及び教科書に準拠した「教材備品」の購入を行います。	B1	B	教育課
		5 情報教育の充実									
			1	ICT教育指導者研修		授業の中で、ＩＣＴ機器を活用した授業を行いました。機器活用のスキルアップをめざし、授業実践に役立つ実践力を高めることを目的とした「ICT活用指導力向上研修会」を開催しました。また、小規模校の学びを充実を図るため、寄小学校と松田小学校をつなぐ、遠隔合同授業を実践しました。	B	コロナ禍による臨時休業中の子どもたちの学びを補償するために「オンライン学習」を実践することができました。ICT教育の必要性が増している中で、オンライン学習を授業や家庭学習で、より実践できるように更なる研鑽を行い、子どもの学びの質を高められるよう進めて参ります。	B1	B	教育課
			2	ICT機器を活用した学校交流事業		多様な人々とのつながりを実現するため、双方で同じ授業に参加できる取組（遠隔授業）を実施しました。	B	小学校だけでなく、中学校も遠隔教育ができるよう整備し、小・中学校の垣根を越えた教育を行います。	A	B	教育課
		6 安全・安心な学校づくり									
			1	学校警備員配置事業		幼稚園、小学校、中学校に警察OBを警備員として配置しており、学校の安全・安心を維持しました。	B	引き続き、幼稚園、小中学校に警察OBを警備員として配置し、子どもの安全確保の充実、強化を図ります。	B1	B	教育課
			2	心の相談員の配置		いじめ、不登校など学校生活における子どもたちの悩みや不安を受け止め相談する体制の強化・充実を図るため、小学校に心の相談員、中学校にスクールカウンセラーを配置しました。また、学校内での情報共有、学校と教育委員会での情報交換、情報共有を継続して実施しました。	B	いじめ、不登校など学校生活における子どもたちの悩みや不安を受け止め相談する体制の強化・充実を図るため、今年度も継続して小学校に心の相談員、中学校にスクールカウンセラーを配置しています。また、学校内での情報共有、学校と教育委員会での情報交換、情報共有を継続して実施します。	B1	B	教育課
			3	通学路の安全対策		登下校の安全対策として、学校、教育委員会などで通学路の合同点検を実施し、必要に応じて対策を講じました。点検及び保護者から防犯上の改善要望があった箇所（河内；国道255号下交差点）については、年度の整備予定を変更していただき、防犯カメラを設置することができました。	B	登下校の安全対策として、学校、教育委員会などで、通学路の合同点検を実施し、必要に応じて対策を講じていきます。	B1	B	教育課
			4	いじめ防止対策		【教育委員会】…学校の取組への支援と取組状況の点検、相談に対する指導・助言 　令和元年度、町いじめ防止に係る方針の改定を行いました。 【学校】…①学校における取組の充実…実効性のある指導体制の確立…教職員の役割分担や責任の明確化を図るとともに、情報交換・共有により共通認識を図り、一致団結した体制の確立 ②適切な教育指導…全ての児童生徒への指導、いじめる児童生徒への指導・措置、いじめを許さない学級経営等、いじめの早期発見・早期対応（児童・生徒へのアンケートなど）	B	日頃から学校の実情把握に努め、学校や保護者からいじめの訴えがあった場合には、学校への支援（相談体制や指導・助言の充実）並びに当該保護者への対応に万全を期してまいります。	B1	B	教育課
		7 特別支援教育の充実									
			1	学習支援・介助員配置事業		障がいのある児童生徒の介助や、通常学級でも学習支援を要する児童生徒、日本語を話せない帰国子女など、すべての子どもたちに学習機会が均等に与えられるよう学習支援員等を配置し対応しています。	B	障がいのある児童生徒の介助や、通常学級でも学習支援を要する児童生徒、日本語を話せない帰国子女など、すべての子どもたちに学習機会が均等に与えられるよう学習支援員等を引き続き配置していきます。	B1	B	教育課
		8 食育の推進									
			1	地産地消		学校給食や食育のあり方、地域と連携した地産地消を進めるため、学校給食研究会を開催し、子どもたちに継続した地場産物を使った給食の提供するなど、健やかな心と体の育成に取り組みました。	B	学校給食会を開催し、学校給食や食育のあり方、地域と連携した地産地消を進めます。	B1	B	教育課
			2	給食費保護者負担軽減措置補助金		各幼稚園、小・中学校への給食費助成による保護者負担を軽減することができました。しかしながら、食材費高騰や安定的な供給が難しいこと、消費税引き上げなどにより、６年ぶりに給食費（月額）を増額しました。	A	各幼稚園及び小・中学校への給食費助成による保護者負担を軽減します。 給食費保護者負担軽減措置を始め、教育委員会で取組を行っている子育て支援施策を町広報などで周知を行い、町（町施策）のPRと人口増加に繋げます。	B1	A	教育課

項目		取組名称	まちづくり戦略（優先・重点）	令和元年度事業内容・実績	令和元年度評価	令和２年度における事業内容	令和２年度の方向性	事業総合評価	担当課
	9 英語教育の充実								
	1	英語検定合格者数の増加（目標人数）		児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を養うために、ALT（外国語指導助手）を配置し、発達段階に応じた英語指導の強化を図りました。 英語教育を推進していくため、英語検定合格者数の増加を目指し、その一助となるよう検定料補助を行いました。【実績】合計31人　126,800円、準１級（１人）、準２級（８人）、３級（８人）、４級（８人）、５級（６人）	B	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を養うために、継続してALTを配置し、発達段階に応じた英語指導の強化を図ります。 公益財団法人日本英語検定協会が実施する検定料の補助を継続します。	B１	B	教育課
	2	ALTの配置による英語教育の充実		ALT（外国語指導助手）１名とインターン生１名により、小・中学校、幼稚園、適応指導教室（教育支援センター）及び寺子屋教室での英語指導を行いました。	B	ALT（外国語指導助手）１名とインターン生１名により、小・中学校、幼稚園、適応指導教室（教育支援センター）及び寺子屋教室での英語指導を行います。	B1	B	教育課
	10 多様なニーズに対する教育の推進								
	1	民俗芸能伝承教室の開催		小・中学校における「総合的な学習の時間」で、松田町大名行列等の伝承教室等を開催することにより、地域の歴史や文化についての理解を深められるよう進めました。 小学生における「総合的な学習の時間」における大名行列等の歴史・文化の継承。寺子屋教室及び中学生における伝承教室の開催とまつだ観光まつりでの演舞を行いました。	B	小・中学校における「総合的な学習の時間」を活用し、地域の自然や歴史についての理解を深めるとともに、松田町大名行列等の伝承教室等を開催します。	B１	B	教育課
	2	学校における環境教育の推進		持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成するため、環境教育を計画的に推進しました。松田町教育大綱での持続可能な開発目標（SDGｓ）では、すべての町民に質の高い学びや体験の機会を確保し、生涯学習を推進しています。環境教育ついては、「総合的な学習の時間」をとおして、町の自然環境、環境保全についての理解を深め、実践力を高めています。 具体的には、寄小学校５年生がやどりき水源林で森林環境学習を行ったことや、小学校４年生が足柄東部清掃組合、酒匂川流域下水道処理場で環境学習を行っています。	B	持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成するため、引き続き環境教育を計画的に推進します。松田町教育大綱での持続可能な開発目標（SDGｓ）では、すべての町民に質の高い学びや体験の機会を確保し、生涯学習を促進するとなっています。学校における環境教育を推進するにあたっては「総合的な学習の時間」をはじめ、各教科等、学校の教育活動全体を通じてさまざまな角度から環境教育の理解を深め、実践力を高めます。 このため、昨年度と同様に、寄小学校５年生がやどりき水源林で森林環境学習を行うことや小学校４年生が足柄東部清掃組合、酒匂川流域下水道処理場で環境学習を行うことを計画しましたが、コロナ禍による授業時数を確保するため、実践事業の実施ができなくなったため、各教科等で環境教育で補完して参ります。	B１	B	教育課
	11 給食施設の整備								
	1	給食施設の集約化等の検討		施設の規模、配置、年間経費、配送等について、松田小学校校舎建設プロジェクト会議や松田小学校建設委員会で協議しました。	B	施設の規模、配置、年間経費、配送等について、松田小学校校舎建設プロジェクト会議や松田小学校建設委員会で協議していきます。	A	B	教育課
	12 幼児教育の推進								
	1	幼保一体保育の推進		幼稚園と保育園の一体保育推進に向けた方向性（意向可能性調査）を実施しました。	B	協議会の立ち上げ、住民周知などを子育て健康課と連携を図りながら進めます。	A	B	教育課
	2	預かり保育の実施		幼稚園の保育時間（概ね8時50分～13時50分）の保育時間外（保育開始後・始）で各幼稚園で預かり、園児の保育を行っています。	B	幼稚園の保育時間（概ね8時50分～13時50分）とし、保育時間外（保育開始後・始）で各幼稚園で預かり、園児の保育を行います。	B1	B	教育課
2 青少年健全育成									
	1 青少年団体の育成								
	1	青少年団体活動の支援		団体活動に対し町有施設の優先的使用、活動助成等の支援を行いました。	B	団体活動に対する支援を継続するとともに、新規団体設立への支援策を検討します。	B１	C	教育課
	2	青少年指導者講習会の開催		青少年指導員に対し町民大学の一事業として人権関係の講演会を開催しました。	B	青少年指導員に対し町民大学の一事業として人権関係の講演会を開催します。 今年度も継続して、青少年指導員、スポーツ団体指導者、子ども会（寄地区）等と合同で指導者講習会を開催します。	B１	C	教育課
	2 青少年育成活動の場の充実								
	1	ジュニアキャンプ教室の開催		小学校高学年生を対象に一泊二日の宿泊事業を実施しました。	B	単体のイベントではなく年間を通して団体活動を実施する中の一事業として開催を企画していきます。	B１	C	教育課

項目	取組名称	まちづくり戦略（優先・重点）	令和元年度事業内容・実績	令和元年度評価	令和２年度における事業内容	令和２年度の方向性	事業総合評価	担当課
2	ジュニアリーダースクールの開催		小学校高学年生を対象に「ふるさと体験事業」を開催しました。	B	単体のイベントではなく年間を通して団体活動を実施する中の一事業として開催を企画していきます。	B1	C	教育課
3 家庭・学校・地域の連携の推進								
1	連携の仕組みづくり		放課後の子どもの居場所づくりとして「放課後子ども教室」を開催、また土曜日の子どもの居場所づくりとして「寺子屋事業」を実施しました。	B	有効的な事業内容を検討し、参加者の増加を図ります。	B1	C	教育課
3 生涯学習								
1 生涯学習環境の整備								
1	松田の自然・歴史や文化を活かした事業の推	優先	生涯学習事業として町民大学（自然環境・歴史・スポーツなどをテーマにした講演会）を開催しました。この事業は、身近な地域資源を活かした事業を展開し、多様な学ぶ機会を提供するものです。	B	過年度のアンケートをもとに参加者ニーズを捉えつつ、有効的な事業内容を検討し、受講者の増加を図ります。	B1	C	教育課
2 社会教育活動を通じた生涯学習の推進								
1	ボランティア等指導者の発掘、サークル団体等育成・支援	重点	生涯学習サポートセンターを中心とした指導者の発掘、団体の育成支援を行いました。	B	引き続き普及啓発を図るとともに活動団体の発掘、発足を図ります。	B1	C	教育課
2	社会教育団体の育成支援	重点	町民のニーズに沿った情報提供を行うとともに、文化センター内に資料掲示等を行い、普及啓発を図るなど、生涯学習情報の提供の充実を図りました。	B	引き続き普及啓発を図るとともに活動団体の発掘、発足を図っていきます。	B1	C	教育課
3 生涯学習情報の提供								
1	生涯学習情報の提供の充実		町民のニーズに沿った情報提供を行うとともに、文化センター内に資料掲示等を行い、普及啓発を図るなど、生涯学習情報の提供の充実を図りました。	B	各種講座等で参加者からアンケートの実施をするなど、ニーズを把握しています。今後もニーズを捉えた情報提供を行うとともに、文化センター内での資料掲示、普及啓発を図るなど、生涯学習情報の提供の充実を図ります。	B1	C	教育課
4 公民館、地域集会施設を活用した事業の展開								
1	生涯学習講座・教室等の充実	重点	町民一人ひとりがあらゆる場所で自由に学習の機会が得られるよう、公民館講座を行いました。また、就園前の子どもを対象に、絵本の読み聞かせや、集団遊びなどの「にこにこ教室」を行うなど、講座・教室の充実を図りました。 ・公民館講座…リース作り、親子料理教室など ・にこにこ教室…年５回開催	B	各種事業の開催により町民一人ひとりがあらゆる場所で自由に学習の機会を設けていきます。	B1	C	教育課
2	出前講座・サークル活動の充実		町民一人ひとりがあらゆる場所で自由に学習の機会が得られるよう、出前講座の制度化を検討しました。また、各種団体の活動支援を進めました。	B	各種事業の開催により町民一人ひとりがあらゆる場所で自由に学習の機会を設けます。	B1	C	教育課
4 地域文化の創造								
1 文化芸術活動の推進								
1	文化活動団体の育成	重点	各種団体の活動に必要となる支援を実施し、団体の活性化、普及啓発を進めました。	B	引き続き活動支援を実施することで普及啓発及び活動の活性化を図ります。	B1	C	教育課
2 活動団体の支援と育成								
1	活動団体への支援	重点	各種団体の活動に必要となる支援を実施し、団体の活性化、普及啓発を進めた。	B	引き続き普及啓発を図るとともに活動団体の育成・支援を図ります。	B1	C	教育課
3 文化財の保存・活用								
1	文化財維持管理の補助、啓発	重点	歴史的価値の高い文化財等について、文化財維持管理の補助、啓発を行いました。文化財を保全・活用していくとともに、地域文化の伝承と併せて、担い手の育成を進ました。 大名行列保存会、寄まつり囃子保存会への補助、各種講座の開催	B	歴史的価値の高い文化財等について、文化財維持管理の補助、啓発を行います。 文化財を保全・活用していくとともに、地域文化の伝承と併せて、担い手の育成を進めます。また、 大名行列保存会、寄まつり囃子保存会への補助を行っていきます。	B1	C	教育課
2	講座等による地域の文化・歴史学習等の実施	重点	有関心層の拡充、普及啓発を図るため町民大学や文化財ウォークを開催しました。	B	引き続き町民大学や文化財ウォークを開催し文化財維持に係る普及啓発を行います。	B1	C	教育課

項目			取組名称	まちづくり戦略（優先・重点）	令和元年度事業内容・実績	令和元年度評価	令和２年度における事業内容	令和２年度の方向性	事業総合評価	担当課
		4 伝統芸能等の保存・伝承の支援								
		1	地域に伝わる無形の伝統芸能の保存・伝承の支援	重点	地域の伝わる無形の伝統芸能の保存・伝承の支援を行いました。 町無形文化財に指定している「松田大名行列赤坂奴」を希望者に指導し、「まつだ観光まつり」において演技を披露することで、地域民俗芸能の伝承を行いました。 民俗芸能教室：８月19日～23日のうち５日間 寄祭囃子保存会の活動で定期的に練習を行い、寄神社例大祭や「まつだ観光まつり」において演奏を行いました。	B	地域の伝わる無形の伝統芸能の保存・伝承の支援を行います。 町無形文化財に指定している「松田大名行列赤坂奴」、「寄祭囃子」の伝承、維持保存に必要な支援を実施するとともに披露の場を検討します。	B１	C	教育課
		5 町民文化センターの施設整備								
		1	施設整備事業		令和元年度は、町民文化センタートレーニングルームのコンセント増設修繕や、町民文化センター１階扉修繕、大会議室の雨漏り修繕等を実施しました。	B	経年劣化による修繕について、利用者が利用する箇所を優先的に実施する等、利用者目線で優先順位をつけて、修繕を実施します。	B1	C	教育課
	5 スポーツ・レクリエーション									
		1 スポーツ・レクリエーション活動の普及								
		1	各種スポーツ大会・教室の開催		各種講習会の開催、町スポーツ協会への補助を行いました。	B	町・町スポーツ協会・スポーツ推進委員等と連携し、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催するとともに、スポーツ登録団体による活動の支援を行います。また、町スポーツ協会への補助を行います。	B１	C	教育課
		2 指導者、諸団体の育成								
		1	指導者・リーダー養成研修の開催		指導者や各種団体の保護者などを対象とした応急手当講習や様々なトレーニング方法を指導する講習などを開催し、指導者の育成支援を行いました。 各種団体同士を結ぶための調整を図ることで、各団体への育成支援を行いました。また、各種講習会の開催し、普及啓発を図りました。	B	各種講習会の開催、町スポーツ協会への補助を行います。	B１	C	教育課
		2	各種スポーツ団体の育成		既存施設の有効活用に加え活動内容周知、助成金交付、講習会の実施等により団体育成を図りました。	B	引き続き活動の活性化に繋がる支援を実施し、団体育成を図ります。	B１	C	教育課
		3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実								
		1	学校体育施設の開放		小中学校の体育館（屋内運動場）、グラウンドの夜間（一部休日昼間含む）開放により地域、団体の活動の拡充が図られました。	B	小中学校の体育館（屋内運動場）、グラウンドの夜間（一部休日昼間含む）開放により地域、団体の活動の拡充を図ります。	B１	C	教育課
		2	施設整備事業		既存施設の適正管理、修繕を実施しました。	B	既存施設の適正管理、使用方法検討により修繕機会の減少及び長寿命化を図ります。	B１	C	教育課